

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	鶴谷病院
所在地	群馬県伊勢崎市境百々421番地
沿革	昭和29年 鶴谷病院開院（20床） 昭和31年 医療法人 鶴谷会 設立 ※その後、増床をし 平成14年 現在の320床となる 平成28年 84床を地域包括ケア病棟へ 46床を療養病床（介護療養）を一般病棟へ 平成29年 地域包括ケア病棟46床増床（計130床） 介護療養病棟42床を一般病棟へ（介護療養 完全に廃止） 平成31年4月 医療法人から社会医療法人へ法人格の変更 現在に至る

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	320 床	床	90 床	92 床	138 床	床
平均在院日数※1		12.2 日	24.0 日	23.4 日		
病床稼働率※2		88.9 %	86.9 %	65.9 %		

※1 在棟患者延べ数（年間） / （（新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）） / 2）

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	320 床	床	92 床	134 床	94 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	地域包括ケアシステムの一角を担う為に、回復期機能を増床を計画し、近院からの患者様の受入を図る。 また、救急医療についても今まで通り積極的に受け入れ、急性期機能病床で状態の早期安定化を図り、回復期機能病床で在宅復帰までサポートが出来る体制を作る。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	21 科（内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、消化器内科、血液内科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、内視鏡外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、救急科、血管外科、皮膚科、糖尿病内科）
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション 人間ドック等健康診断			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション 人間ドック等健康診断			

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬大学医学部附属病院	伊勢崎市民病院	綿打診療所
主な紹介先医療機関	伊勢崎市民病院	群馬大学医学部附属病院	太田記念病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な	<p>当法人では様々な介護サービスも提供しており、地域の患者様やその家族が必要としている医療・介護サービスを提供することが出来ます。これらのサービスを使い患者様の在宅復帰から在宅療養のサポートもしています。</p> <p>また、患者様やその家族が安心できる医療を心掛け、多くの診療科が相互に連携し多様な合併症が必要な患者様にも十分な医療を提供しています。</p>
特徴的な	<p>地域包括ケア病棟の病床数が県内有数であり、この病棟を中心として国の推し進める、地域包括ケアシステムの一角を担う病院を目指している。</p>

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次救急医療機関として夜間・休日の救急患者に対して積極的に受入をし、検査等についても対応できる体制を整えています。</li> <li>・様々な合併症の治療が必要な患者様にも十分な医療が提供できるよう体制を整え、より専門性の高い医師による治療も定期的に行っている。しかし、高度急性期医療が必要と判断された場合は、速やかに適切な処置の出来る医療機関へ連携が取れる体制も作っています。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急患者の受入を積極的に行い、高度急性期を担う医療機関の負担軽減を図る。また、救急患者に対して夜間・休日問わず、現状よりもさらに適切で迅速な医療を提供できるような体制を整える。</li> <li>・新たな診療科の常勤医を増やし、外来患者をはじめ入院患者の様々な合併症に対し、より専門性の高い医師連携で常に早期対応・早期治療が可能な体制を作る。</li> <li>・地域包括ケアの観点から、高度急性期を担う医療機関からの患者様の受入を行い、入院から在宅復帰、その後の在宅療養までをサポートし、地域住民が安心できるサポート体制を整える。</li> </ul>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<p>夜間・休日の救急医療はもちろん、地域の患者様の必要とされる医療を提供できるよう、医師をはじめスタッフ全員で常に心掛けております。</p> <p>超高齢化を迎える中で、当院の特徴とも言える医療と様々な介護サービスを使い、ご家族様とご本人様が安心して在宅復帰が出来るようサポートさせていただきます。</p>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	伊勢崎福島病院
所在地	群馬県伊勢崎市鹿島町556-2
沿革	昭和56年 医療法人上毛会伊勢崎福島病院として200床にて事業開始 昭和57年 310床に増床 平成4年 304床に変更 平成5年 276床に変更 平成8年 272床（一般病棟167床、療養型病床群105床）に変更 平成11年 262床（一般病棟167床、療養型病床群95床）に変更 平成25年 232床（一般病床137床、療養病床95床）に変更 現在に至る

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	232 床	43 床	94 床	95 床		
平均在院日数	日	13.0 日	31.0 日	317.0 日		
病床稼働率	%	73.2 %	63.0 %	96.8 %		

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計						廃止	介護保険施設 等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期				
	232 床	43 床	94 床	95 床				

2025年に 向けた 病床活用の 見通し	今後も急性期から慢性期にかけての医療を地域の皆様に提供していくために、地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟も検討していく。
-------------------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	11 科（内科、循環器内科、神経内科、外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、リウマチ科、リハビリテーション科、ペインクリニック内科、放射線科、麻酔科、歯科）
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション			





将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション			

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	伊勢崎市民病院	前橋赤十字病院	群馬大学附属病院
主な紹介先医療機関	伊勢崎市民病院	前橋赤十字病院	群馬大学附属病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 	整形外科医3名と外科医1名により、急性期医療を患者様に提供し、神経内科医が4名とリハビリテーション科医1名により、回復期及び慢性期の患者様に医療を提供している。
特徴的な 	

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	通常診療の他に、健康診断や予防接種など、地域の方々が気軽にかかれるような病院として幅広く対応しています。
当院の未来像	地域の医療機関との連携を深め、患者様にとって、かかりたいと思われる病院になれるような医療提供体制を整えていきたい。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	救急医療はもちろんの事、リハビリテーション医療、比較的長期に渡る慢性的疾患等の包括的なサービスの提供を実施しています。 今後も、医療の質の向上及び地域社会との連携に努め、地域住民の健康を守る拠点となる病院を目指しています。

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院
所在地	群馬県伊勢崎市太田町366
沿革	昭和39年：内科・神経科・脳外科の専門病院として美原記念病院開設(100床) 昭和40年：135床に増床 昭和47年：病院改築(207床に増床) 平成7年：189床に削減(一般病床152床、療養病床37床) 平成11年：病院新築(急性期病床45床、療養病床144床) 平成12年：療養病床144床のうち50床を回復期リハビリテーション病棟に転換(療養病床94床) 平成14年：療養病床を特殊疾患療養病床45床、回復期リハビリ病床49床に転換し機能特化 平成24年：脳卒中の初期治療を専門特化するため高度急性期機能を追加(SCU病床3床、急性期病床42床) 平成28・29年：地域から求められる「病院」として回復期リハ病棟の1部を地域包括ケア病床に転換(地域包括ケア病床16床、回復期リハ病棟83床) 令和2年：SCU病床9床に増床し、急性期病床36床に削減

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	189床	9床	36床	99床	45床	床
平均在院日数	4.4日	7.9日	49.5日	26.1日		
病床稼働率	96.3%	87.3%	93.7%	93.8%		

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	介護保険施設等への移行
	189床	12床	33床	99床	45床	0床	0床

2025年に向けた病床活用の見通し	2035年まで増え続ける脳卒中患者に高度な医療を提供するため、SCU病棟を増床し、t-PA静注療法や脳血管内治療を実施し脳卒中初期治療の充実を図る。 また、現在回復期病床99床を回復期リハビリテーション病棟83床、地域包括ケア病床16床で運用しているが、在宅療養支援病院として脳卒中後遺症患者などの在宅療養支援という地域のニーズに応えるため、地域包括ケア病床を20床に増床する計画である。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	9科(脳神経内科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、内科、外科、放射線科、循環器内科、精神神経科)
------	--

現在	がん	〇	脳卒中	〇	心血管疾患	〇	糖尿病	〇	精神疾患	〇	在宅医療
	救急	〇	災害	〇	へき地	〇	周産期	〇	小児	〇	その他
「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、脳ドック、認知症疾患医療センター										



将来(2025年)	がん	〇	脳卒中	〇	心血管疾患	〇	糖尿病	〇	精神疾患	〇	在宅医療
	救急	〇	災害	〇	へき地	〇	周産期	〇	小児	〇	その他
「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、脳ドック、認知症疾患医療センター										

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	伊勢崎市民病院	伊勢崎佐波医師会病院	ひらが脳神経外科
主な紹介先医療機関	伊勢崎市民病院	伊勢崎佐波医師会病院	石井病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 脳卒中診療体制	24時間365日、脳神経内科医もしくは脳神経外科医が常駐しており、脳卒中患者の診療及び手術に対応できる体制を整えている。t-PAや血管内治療など、常に最新の治療を提供している。 伊勢崎圏内における救急搬送の脳疾患シェア率は常に40%以上である。 リハビリテーション体制も充実しており、急性期病棟におけるリハビリテーションの1日平均実施量は4.3単位、回復期リハビリテーション病棟における脳血管リハビリテーションは平日7.8単位を提供している。
特徴的な 神経難病診療体制	脳神経内科医5名が常勤務しており、うち3名は神経内科専門医である。神経難病の診断はもとより、レスパイトケアやリハビリテーション目的の短期入院患者を多数受け入れている。 さらに、全国で唯一の神経難病リハビリテーション科を立ち上げ、神経難病に特化したリハビリテーションを提供する体制を整えている。学会認定の難病看護師が5名おり、ケアの質を高めている。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SCU病棟9床、急性期病棟(7対1)36床、回復期リハビリ病棟(2病棟)83床、地域包括ケア病床16床、神経難病患者対象の障害者施設等一般病棟45床を有するケアミックス型病院であり、脳・神経疾患の急性期から在宅まで一貫した医療・介護を提供している。</li> <li>・ 現在、一時脳卒中センターの認定を受けており、地域の脳卒中患者の初期治療にあたっている。</li> <li>・ 急性期病棟の平均在院日数は8.6日、病床利用率91.3%で運用しており、脳神経外科による手術件数は311例、t-PA静注療法29例、緊急血栓回収術20例であった。救急搬入件数1289件のうち78%を脳疾患患者が占めている。多職種によるチーム医療を実現しており、在宅復帰率は94.3%である。</li> <li>・ 回復期リハビリ病棟の平均在院日数は58.2日、病床利用率95.0%で運用しており、在宅復帰率は87.9%である。</li> <li>・ 地域包括ケア病床の平均在院日数は24.0日、病床利用率96.1%で運用しており、在宅復帰率は90.4%である。</li> <li>・ 障害者施設等一般病棟の平均在院日数は25.8日、病床利用率96.2%で運用している。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2035年まで増え続ける当圏域の脳卒中患者に高度な医療を提供するため、SCU病棟を3床から9床まで拡充してきたが、今後は12床までの増床も視野に入れて運営していくことを検討している。</li> <li>・ さらに、脳血管内治療実績のない病院に搬送された脳卒中患者の転送を受け入れる血栓回収脳卒中センター(TSC)を指向していきたいと考えている。</li> <li>・ また、在宅療養支援病院として脳卒中後遺症患者などの在宅療養支援という地域のニーズに応えるため、回復期リハビリ病棟を79床に削減し、地域包括ケア病床を20床に増床する計画である。</li> </ul>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>美原記念病院は昭和39年の開設時と変わらず、脳・神経疾患の急性期から在宅まで一貫した医療を提供することを目的としています。</p> <p>脳卒中、脳動脈瘤、脳腫瘍、頭部外傷などのほか、生活習慣病の予防管理、また、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症などの神経難病の患者さんの診療にあたっています。</p> <p>高性能の医療機器を備え、脳梗塞超急性期の血栓溶解療法、血管内手術など最先端の治療を実施しています。</p> <p>未曾有の超高齢社会において、美原記念病院は地域の皆さんの健康と福祉の増進のため、そして医療の発展のため、スタッフ一丸となってさらに努力を重ねて参ります。</p>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	石井病院
所在地	群馬県伊勢崎市波志江町1152番地
沿革	平成元年：一般病床（急性期）148床にて開院 平成15年：一般病床（急性期）20床を増床し、計168床 平成22年：一般病床（急性期）20床を増床し、計188床 平成22年：一般病床（急性期145床、回復期43床）計188床 平成30年：一般病床（急性期126床、地域包括19床、回復期43床）計188床 ※二次救急指定病院

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計					休棟中等
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	床	
	188 床	床	145 床	43 床	床	床
	平均在院日数	日	20.3 日	50.4 日	日	日
	病床稼働率	%	83.7 %	98.0 %	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	床		
	188 床	床	145 床	43 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も急性期医療を主体に信頼される医療を提供していくとともに、救急医療を終えた患者様に対するリハビリテーション機能の充実を図る。
-------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	15科（内科、腎臓内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、リウマチ科、外科、肛門科、形成外科、整形外科、皮膚科、アレルギー科、麻酔科（ペインクリニック）、眼科、リハビリテーション科）
------	---

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断			

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	伊勢崎市民病院	伊勢崎佐波医師会病院	美原記念病院
主な紹介先医療機関	伊勢崎市民病院	前橋赤十字病院	群馬大学医学部付属病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な  チーム医療	早期離床、早期社会復帰を目的とし、医師をはじめとする多くの職員の連携と協力による「チーム医療」に取り組んでいます。 診療部・看護部・薬剤課・検査課・放射線課・リハビリ課・栄養課・事務部・地域医療連携室などで働いている多職種が関わり情報を共有し、連携を図りながら、患者様に最も適した治療にあたっています。
特徴的な  サテライト クリニックとの 病診連携	渋川市中村にある渋川伊香保分院、前橋市敷島町にある敷島の森おなかのクリニック、伊勢崎市曲輪町にある石井皮フ科と本院（石井病院）4つの施設間で病診連携を実施。当院に入院された場合、クリニックの診察室からも入院中の患者様の検査結果や治療経過が閲覧できます。病院と診療所がそれぞれの役割、機能を分担し、お互いに連携しながら、より効率的、効果的な医療を提供するオンラインでのデータ相互閲覧ができるようになっています。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般急性期医療を主体とした、早期離床・早期社会復帰を目指したチーム医療を提供しています。</li> <li>・平成30年4月に一般病床の一部（19床）を地域包括ケア病床に転換し、運用を開始しました。これに伴い、多職種から構成されるワーキンググループを立ち上げて、地域包括ケア病棟への入棟・転棟基準を整備し、病棟の円滑な運用を図っています。</li> <li>・令和3年度の救急搬送受け入れ件数は1285件でした。そのうち整形外科で受け入れた件数が1010件と最も多く受け入れています。今後も地域医療に貢献するため、救急搬送の受け入れ強化に努めてまいります。</li> </ul>
当院の未来像	医療圏内での当院の役割分担を明確にして、他の医療機関との連携を図り急性期及び回復期の患者様を受け入れます。また、地域の開業医の先生方とのより効率的、効果的な病診連携で患者様に安全で安心な医療を提供し、信頼される病院を目指します。そのためにも、急性期から回復期、そして在宅医療に至るまで、地域全体で切れ目のない必要な医療の提供を目指します。地域医療構想で不足とされている回復期機能を充実、救急医療の強化、地域医療連携室の機能の強化、在宅医療・介護サービスの支援・強化をしていく方針です。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は患者様を中心に医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフなど多職種の医療スタッフが連携し、それぞれの専門性を活かしながらチーム医療を展開しています。そして、職種の垣根を超えた院内での検討会や勉強会なども活発です。</li> <li>・健康講座、医療講演会、イベントなどを積極的に実施して、地域との繋がりを強め、地域住民の方に信頼され身近な病院づくりに努めております。</li> <li>・当院では理念と基本方針の他に行動規準を掲げております。1 (S) 安全、2 (C) 清潔、3 (E) 効率、4 (H) おもてなしの行動規準「S・C・E・H」は私たちが理念を医療のあらゆる場面で実践する際に、心掛けている4つの基準です。</li> <li>・関節痛を持つ中高齢者やスポーツ選手を中心に低侵襲で根本的な治療になりうる再生医療を提供いたします。</li> <li>・院内での感染予防対策として、入院患者様、ご家族、外来患者様にはご不便をおかけしますが、職員一同感染予防の徹底に努めてまいります。</li> </ul>



# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 樹心会 角田病院	
所在地	群馬県佐波郡玉村町上新田675-4	
沿革	平成元年：医療法人樹心会角田病院開設（100床） 平成20年：回復期リハビリテーション病棟（48床） 障害者施設等一般病棟（47床）（計95床） 平成23年：一般病棟（30床）増床（計125床） 平成28年：障害者施設等一般病棟の一部を地域包括ケア病床に変更（10床）	

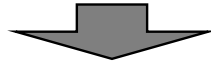
## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	125 床	床	30 床	48 床	47 床	床
	平均在院日数	日	9.3 日	92.6 日	116.2 日	
	病床稼働率	%	71.7 %	80.4 %	84.0 %	

※1 在棟患者延べ数（年間）／（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	125 床	床	30 床	48 床	47 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	地域のニーズに合わせた病床編成に取り組んで来ており、現時点での変更の予定はありません。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	11 科（内科、外科、大腸・肛門外科、循環器内科、消化器内科(内視鏡)、糖尿病内科、神経内科、人工透析内科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科）
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション			

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	伊勢崎市民病院	前橋赤十字病院	黒澤病院
主な紹介先医療機関	伊勢崎市民病院	高崎総合医療センター	前橋赤十字病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な  大腸・肛門疾患 治療	<p>大腸がん、潰瘍性大腸炎、クローン病といった病気の検査、治療を中心に診療しています。苦痛のない大腸内視鏡検査による早期発見と、内視鏡手術や腹腔鏡手術といった負担の少ない治療を行い、『患者様に優しい医療』を目指しています。</p> <p>肛門の痛み、出血、脱出、かゆみ、残便感、便漏れ、肛門の違和感といった症状のある方の診療を行っております。痔核（いぼ痔）、痔瘻、裂肛（切れ痔）といった病気だけでなく、肛門周囲膿瘍、肛門掻痒症（痒み）、直腸脱などの肛門の周りのあらゆる病気について対応致します。</p>
特徴的な  リハビリ テーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・365日リハビリテーション提供体制</li> <li>・川平法、ロボットスーツHAL、ボツリヌス療法、バイオフィードバック骨盤底筋トレーニング 等</li> <li>・退院後のフォローアップ体制（外来、訪問、通所リハ）</li> </ul>

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>地域の保健・医療・福祉への貢献と専門的医療（大腸・肛門疾患、リハビリテーション）に力を入れています。</p> <p>主な入院の受け入れ状況は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の急性期患者</li> <li>・大腸・肛門疾患患者</li> <li>・リハビリを希望する方（脳血管疾患、大腿骨頸部骨折、急性期後）</li> <li>・障害者の方（重度の肢体不自由者、脊椎損傷等の重度の障害者、筋ジストロフィー患者、神経難病患者 等）</li> </ul>
当院の未来像	<p>玉村町唯一の病院として、町内及び隣接地域に於ける地域包括ケアシステムの実現を目指します。基本的なスタンスは大きく変えることなく、必要な医療・介護が提供できるよう、提供サービスの拡大や事業所の整備に加え、施設・設備の充実も図っていきたいと考えております。</p> <p>また、「終末期医療」「アドバンス・ケア・プランニング」といったテーマにも取り組んでいきたいと思っております。</p>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<p>当院では、慢性期疾患及びリハビリテーションに加えて、近年増加が著しい大腸がんを中心とした「がん」の早期発見・早期治療に力を入れるとともに肛門疾患（痔疾患）等の大腸肛門病の専門的な診断・治療に積極的に取り組んでおります。また、「はつらつ健康教室」や「地域出前講座」等を通じて、地域の皆様の介護予防や健康維持・増進にも力を入れています。</p> <p>その他、患者様に安らぎと癒しを感じていただける空間として、「アートギャラリー」や「院内ガーデン」を設けており、地域の方との交流の場にもなっております。</p> <p>これからも、地域の皆さまから信頼され、安心の医療を提供できるよう努めて参ります。</p>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人恵泉会 せせらぎ病院
所在地	群馬県伊勢崎市市場町1丁目1399番地
沿革	平成12年（2000年）：一般病床（急性期）44床にて開院 平成14年（2002年）：一般病床（急性期）5床を増床し、計49床 現在に至る

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	49 床	床	49 床	床	床	床
	平均在院日数	日	32.2 日	日	日	日
	病床稼働率	%	77.4 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間）／（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計						廃止	介護保険施設 等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期				
	49 床	床	49 床	床	床	床	床	

2025年に向けた 病床活用の 見通し	<ul style="list-style-type: none"><li>・シャント閉塞、シャント瘤等による緊急手術への積極的な対応していく。</li><li>・慢性腎臓病による急性増悪に対し緊急の受け入れ体制を整えると共に、終末期までの医療を提供していく。</li></ul>
---------------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	8 科（ 外科、内科、循環器科、腎臓内科、泌尿器科、胃腸科、呼吸器科、リウマ 子科 ）
------	---

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期		小児	○ その他
	「その他」の 具体的な機能							



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の 具体的な機能		人工腎臓						

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	伊勢崎市民病院	前橋赤十字病院	東邦病院
主な紹介先医療機関			

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 血管内治療 による連携	県内各所より、シャントトラブルに関する患者様の受け入れを行い、循環器及び外科医師を中心に多職種と連携し診断、治療を行っている。
特徴的な 一貫した 慢性腎臓病治療	慢性腎臓病の保存期から透析導入、終末期まで対応し、個々の患者様の生活スタイルに合わせた医療を提供できるよう一貫したサポートを行っている。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	透析医療を中心とした、腎臓病に関する総合的な診療を提供している。早期発見や進行抑制に努め、個々の患者様に合わせた治療選択を心掛けている。また、透析治療に至った場合は、長期予後の改善と合併症の予防に努めている。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス管理部門を併設した透析センター・腎臓専門外来・専用病棟を整備し、地域の医療機関・介護関連施設と積極的な連携のもと、慢性腎臓病患者様の全ての病期病態に対応できる地域の腎疾患センター的役割を担う。</li> <li>・地域への腎臓病予防に関する活動を行う。</li> <li>・地域の病院様及び診療所様との連携を深め、患者様に必要とされる病院を目指す。</li> </ul>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	治療に関する御心配や御相談にも対応できるよう、相談窓口の充実を図り、生活面等のサポートにも力を入れています。また、御高齢の介護が必要な患者様の受け入れも積極的に行い、患者様だけでなく御家族様のサポートも心掛けています。

# 2025年への対応方針

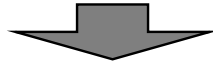
## 1. 基本情報

【2024年 3月時点】

医療機関名	一般財団法人 資生会研究所 大島病院
所在地	群馬県伊勢崎市太田町508番地1
沿革	昭和42年 財団法人 資生会研究所 平成12年 療養病棟 40床 平成24年 一般財団法人 資生会研究所

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	40床	床	床	床	床	40床
平均在院日数		日	日	日	181.1日	
病床稼働率		%	%	%	78.2%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	40床	床	床	床	床	40床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	①急性期治療後の回復療養で紹介してくる高齢者の入院治療 ②高齢者の施設からの一時的な入院治療の依頼 (発熱 脱水 嘔吐など) ③身体疾患と精神疾患の合併症の治療のための入院 それらの入院治療の依頼は多くあり、今後も増えていくと思われ、地域の中での役割だと考え、果たしていきたい。
-------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	5科 (内科、呼吸器科、胃腸科、精神科、心療内科)
------	---------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地		周産期		小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	デイケア、訪問看護						



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地		周産期		小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	デイケア、訪問看護						

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	伊勢崎佐波医師会病院	伊勢崎市民病院	美原記念病院
主な紹介先医療機関	伊勢崎佐波医師会病院	伊勢崎市民病院	石井病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 精神科と内科の共同診療	精神疾患でも身体症状を訴えたり、身体疾患を合併したり、内科疾患でも二次的にうつ症状や不安症状を合併したりする。そうした患者様を精神科と内科で共同し、診療に当たっている。
特徴的な 精神疾患、内科疾患の多職種連携による治療	精神疾患も内科疾患も多職種（医師、看護師、薬剤師、作業療法士、精神保健福祉士、デイケア・訪問看護課担当など）で情報を共有、連携し、各職種の役割を發揮し患者様と関わり、治療をすすめている。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>○幅広く、様々な精神症状を持つ方々、認知症患者様やそのご家族に対して、診療、相談に応じている。</p> <p>○地域包括支援センターでの精神疾患の疑いのある方や、困っているケースに対して積極的に相談に乗り、治療に結びつけている。</p> <p>○地域の他医療機関からの紹介、地域の高齢者施設からの紹介に、迅速かつ積極的に受け入れている。</p> <p>○当院周辺の地域の方の診療、健診、相談に積極的に応じている。</p>
当院の未来像	<p>○地域の病院、クリニック、高齢者施設との連携を一層深めて、地域の中での頼れる、病院でありたい</p> <p>○健診、治療、相談まで、丁寧で親切に対応し、地域で欠かせない、重要な病院を目指していく。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>今後、様々な精神症状を抱えて、相談されてくる方々が増えてくると予想されます。そうした精神症状に対して、細かく、丁寧に、広く、相談に乗り、診療をしていきたい。</p>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	セントラルクリニック伊勢崎
所在地	伊勢崎市粕川町1050-1
沿革	平成16年7月 開業 一般病床急性期病棟8床 現在に至る

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	8 床	床	1 床	床	床	7 床
	平均在院日数	日	20.0 日	日	日	
	病床稼働率	%	%	%	%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	床	床	0 床	床	床	床	8 床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	
---------------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	4 科 ( 泌尿器科、皮膚科、内科、外科 )
------	------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の 具体的な機能	一泊入院によるTUR-P手術を行っている				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の 具体的な機能	TUR-Pは適応例において行う予定				

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	伊勢崎市民病院	伊勢崎佐波医師会病院	小杉内科医院
主な紹介先医療機関	伊勢崎市民病院	前橋赤十字病院	善衆会病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な プライマリ・ケア	泌尿器科 皮膚科 内科 外科 のプライマリ・ケアを主体として治療に臨んでいる。診療所に対応可能な疾患については、可及的に診察し、中核病院の負担軽減と機能保持に微力ながら協力できるよう努力している。
特徴的な	

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	受診者の心身負担軽減のためバリアフリー・車椅子用トイレ・椅子の増設などを完備し対応しているが、外来待ち時間の短縮が当面の課題である。
当院の未来像	周辺医療機関の間で医療情報を共有し、受診者が安心できる理想的な診療体制の構築を目指していく。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	



# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人あかつき あかつきウィメンズクリニック
所在地	群馬県伊勢崎市連取本町20-9
沿革	平成28年3月31日 地域の周産期医療を支えるため、あかつきウィメンズクリニックを開設。 平成28年7月4日 診療開始。 現在に至る。

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19 床	床	19 床	床	床	床
	平均在院日数	日	3.5 日	日	日	日
	病床稼働率	%	66.2 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19 床	床	19 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	伊勢崎保険医療圏では分娩取り扱い施設が減少しており、地域産婦人科医師高齢にともない、今後10年以内にさらに減少することが予想される危機的状況のなか、県内に加え県外からの受診・分娩を希望する妊婦も多く、全ての妊産婦に対応していくのは難しい状況である。地域周産期医療を支えるため、増床を計画している。
-------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	1 科 (産婦人科)
------	------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	○ 小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	産婦人科診療、妊婦検診、分娩、産科手術、婦人科診療、婦人科健診、婦人科手術				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	○ 小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	産婦人科診療、妊婦検診、分娩、産科手術、婦人科診療、婦人科健診、婦人科手術、無痛分娩				

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	伊勢崎市民病院	前橋日赤病院	桐生厚生病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性が健康な人生を送るために、精神的・時間的な壁を取り除き、バリアフリーな質の高い産婦人科医療を提供している。</li> </ul>
特徴的な 職場環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性が安心してはたらける職場と、安心して妊娠、出産、育児ができる環境を提供している（医師を含め全職員）</li> </ul>

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>分娩取り扱い施設として、24時間365日、診療及び分娩（夜間休日、帝王切開含む）に対応できる体制を整えている。</li> <li>各婦人科手術（良性腫瘍摘出術など）を行っている。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来は、小児科、生殖医療専門医（不妊外来）、麻酔科医を増やし、安全な無痛分娩を行えるパースセンター（病床数50の病院）を目指すとともに、婦人科腹腔鏡専門医を迎え、腹腔鏡手術を行えるようにする。</li> </ul>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のかかりつけ医院として、患者様のニーズに誠心誠意をもってサポートしていきます。</li> </ul>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	渡辺内科クリニック
所在地	群馬県伊勢崎市連取元町23-2
沿革	

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19 床	床	19 床	床	床	床
	平均在院日数(※1)	日	日	日	日	
	病床稼働率(※2)	%	%	%	%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19 床	床	19 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今のところ、特に考えておりません。
-------------------	-------------------

## 3. 医療機能について

診療科目	内科 (腎臓、人工透析、糖尿病、リウマチ、呼吸器、循環器、消化器、アレルギー、放射線)
------	---

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	現在、当院では腎不全患者の対応を中心的に行っております。					

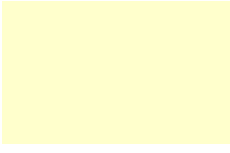
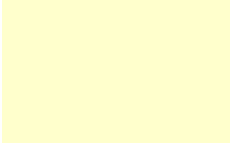


将来(2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	当院では今後も腎不全患者の対応を中心的に行っていく予定です。					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	伊勢崎市民病院	前橋赤十字病院	角田病院
主な紹介先医療機関	伊勢崎市民病院	前橋赤十字病院	太田記念病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 	当院は平成5年6月11日に開業。現在、103台の透析設備と、19床の入院設備を持ち、腎不全の長期入院患者の受け入れに加え、糖尿病自己血糖コントロール、関節リウマチの生物製剤による治療、膠原病の診断と治療、経鼻内視鏡、心臓、腹部エコー、ABIフィルム、頸動脈エコーなど行っております。近年は、オンラインHDF、I-HDF、エンドトキシン吸着、ビリルビン吸着、血しょう交換、CHDF、CARTなど、各種血液浄化療法を積極的に施行しています。
特徴的な 	

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	当院は平成5年6月11日に開業。現在、103台の透析設備と、19床の入院設備を持ち、腎不全の長期入院患者の受け入れに加え、糖尿病自己血糖コントロール、関節リウマチの生物製剤による治療、膠原病の診断と治療、経鼻内視鏡、心臓、腹部エコー、ABIフィルム、頸動脈エコーなど行っております。近年は、オンラインHDF、I-HDF、エンドトキシン吸着、ビリルビン吸着、血しょう交換、CHDF、CARTなど、各種血液浄化療法を積極的に施行しています。
当院の未来像	今のところ、特に考えておりません。まずは、コロナが落ち着いた医療機能が通常に運営するようになったらと思います。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人一灯会 新生産婦人科医院
所在地	伊勢崎市茂呂町二丁目2878-1
沿革	1988年4月11日開業。産婦人科として婦人科手術、分娩を主体に仕事に専念。 ホルマリン管理により産婦人科手術を断念。 以後産科を主体とす。 2016年より無痛分娩開始

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	17 床	床	17 床	床	床	床
	平均在院日数	日	6.5 日	日	日	日
	病床稼働率	%	64.8 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	17 床	床	17 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	産科を中心に、分娩（正常分娩、急速ついで、帝王切開、無痛分娩）、産後ケア（デイ、ケア型）、妊婦健診施行。 婦人科は、癌検診、婦人科疾患の診断、治療、内分泌疾患、更年期障害、軽度の不妊症に対応、小児科として、分娩後1ヵ月までの診療を行う。 今後、分娩数の減少に伴い、地域医療を含め、どのように関わっていくかを考えていきたい。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	3 科 (産婦人科、小児科、麻酔科)
------	--------------------

現在	○	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療		
		救急	災害	へき地	○	周産期	○	小児	その他
		「その他」の具体的な機能							



将来 (2025年)	○	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療		
		救急	災害	へき地	○	周産期	○	小児	その他
		「その他」の具体的な機能							

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	伊勢崎市民病院	県立ガンセンター	
主な紹介先医療機関	伊勢崎市民病院	県立小児医療センター	県立ガンセンター

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 周産期医療	正常分娩、急速遂娩、帝王切開術（平均8%）、骨盤位分娩、無痛分娩等に対応できる状況にも対応できるようにしている。又、胎児超音波診断医にて体内診断の早期診断し早期対応している。
特徴的な 婦人科	超音波、コルポ診等により子宮癌、卵巣癌等の早期診断につとめ、子宮頸癌の早期のものは当院にて対応し、進行したものは県立ガンセンター、群馬大学へ紹介している。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	産科医2名、麻酔科医1名、助産師6名、看護師12名で、周産期医療を中心に婦人科、又市の癌検診等を行っている。 緊急に関しても、救急車対応100%受け付け。 当院対応可能な者は当院で、総合的な治療が必要な者は、救急車にて紹介医療機関に搬送。
当院の未来像	当院の特徴的な面を生かし、現状よりスキルアップした人材を確保し、より安全安心、安全な医療を心掛けたい。 最近、老人施設入院中の痴呆を伴う女性疾患を伴う老人女性が増えているので、今後、地域医療のいっかんとしてかかわっていきたい。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全で患者の希望する分娩方法が選択できます。（正常、骨盤位分娩、無痛分娩、前回帝王切開後の経膈分娩、帝王切開術）</li> <li>・婦人科は癌の早期発見、早期治療、尿の不安（頻尿、尿もれ）、更年期障害の対応をしています。早目の受診をすすめています。</li> <li>・その他、婦人科的な相談に応じています。</li> </ul>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人望真会 古作クリニック
所在地	伊勢崎市日乃出町1351番8
沿革	S60年2月に一般病床19床にて開院 H14年10月に一般病床13床に変更 泌尿器科を中心とした血液透析も行う医院

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	13 床	床	13 床	床	床	床
	平均在院日数	日	0.1 日	日	日	日
	病床稼働率	%	0.94 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	13 床	床	13 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も地域密着型の診療所として医療を提供していきたいと思います。
-------------------	----------------------------------

## 3. 医療機能について

診療科目	3 科 ( 泌尿器科、内科、外科 )
------	--------------------

現在	○ がん	脳卒中	心血管疾患	○ 糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	前立腺癌の検査、血液透析				



将来 (2025年)	○ がん	脳卒中	心血管疾患	○ 糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	前立腺癌の検査、血液透析				

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	伊勢崎市民病院	伊勢崎佐波医師会病院	伊勢崎佐波診療所
主な紹介先医療機関	伊勢崎市民病院	伊勢崎佐波医師会病院	伊勢崎佐波診療所

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 地域密着医療	泌尿器科を中心とした血液透析も行う医院
特徴的な 救急医療協力 診療所	上記の患者さんを救急の場合、24時間体制で受けいれております。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	前立腺癌患者さんの早期診断を行い二次健診等の前立腺主検を施行しています。 血液透析患者さんにならないように治療を対応しております。
当院の未来像	前立腺癌患者さんの早期診断を行い二次健診等の前立腺主検を施行しています。 血液透析患者さんにならないように治療を対応しております。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	病気の早期発見は健康診断が大切です。 みんなで健康診断を受けましょう。



# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団 真正会 南部眼科
所在地	群馬県佐波郡玉村町大字後箇216-1
沿革	H10年4月23日に当地に開業し、現在に至る。 (有床5床)

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	5床	床	5床	床	床	床
	平均在院日数	日	1.0日	日	日	
	病床稼働率	%	0.1%	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	5床	床	床	5床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	自分の体調、医療をとりまく状況によっては、この方針も変化する可能性がある。
---------------------------	---------------------------------------

## 3. 医療機能について

診療科目	1科(眼科)
------	--------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の 具体的な機能	眼科専門のみ。					


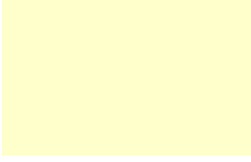


将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の 具体的な機能	上記に同じ。					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬大学眼科	伊勢崎市民病院	公立藤岡総合病院
主な紹介先医療機関			

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 	眼科のみに特化した診療を行っている。
特徴的な 	

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	眼科のみに特化した診療を行っている。
当院の未来像	これからも眼科専門医として診療していく予定である。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	フクイ産婦人科クリニック
所在地	群馬県伊勢崎市下植木町553-3
沿革	平成2年4月 14床にて開院 平成9年4月 法人化 平成19年4月 5床増床し19床に増床 令和元年8月 田村正明に理事長交代

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19 床	床	19 床	床	床	床
	平均在院日数	日	6.0 日	日	日	日
	病床稼働率	%	50.0 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	19 床	床	19 床	床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	出生数の減少と患者サービス向上のため、病床の一部を減少しLDRにすることを検討中。
---------------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	1 科 (産婦人科)
------	------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	伊勢崎市民病院	小児医療センター	群大病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 無痛分娩の実施	日本以外の先進国では広く行われているが、日本では10%未満の実施率と言われている無痛分娩を実施している。母胎の回復が早いので、早くから赤ちゃんのケアができるなど患者さんにメリットを提供できている。
特徴的な 救急トレーニングの実施	出産はいつ、どのような状況でおこるか分からないものであるため、常に不測の事態に備える意識の醸成、対応する能力を養い、少しでも安全、安心にお産に臨めるよう、医師、助産師、看護師を中心に日々、シミュレーショントレーニング等を重ねている。また、2019年9月には前橋日赤に会場をお借りし、ALSOを当院主催で開催した。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	お産を扱う産婦人科が減少を続ける中、現在でも年間約500件のお産を取り扱っている。しかし、産婦人科医不足、助産師・看護師不足は慢性的なものであり、採用も計画通りにはいかないのが現実である。そのような状況を鑑み、医師国保から協会けんぽに移行するなど待遇改善に着手し、スタッフの質と量の確保に努め、よりよい医療を提供し、出生数が頭打ちの中でも選ばれるクリニックになるよう日々、改善している。
当院の未来像	出生数は頭打ちから減少に向かう中、また、人手不足の中、患者さんからもスタッフからも選ばれ続けるクリニックになるよう、スタッフの質の向上に取り組んでいる結果があらわれ、今まで以上に患者さんの満足度を向上させ、お産を扱う施設として地域貢献することを目指す。  必要な設備、機器に対する投資は惜しまず、歴史はあるが新しいクリニックを目指す。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	いままでもこれからも、専門家であるわたしたちは皆様のお手伝いをいたします。安心して出産できる環境を整えるため、日夜、研鑽に励んでいる、医師、助産師、看護師、看護助手、厨房担当、管理栄養士、事務職員、清掃担当者などのスタッフがお待ちしております。  また通常分娩だけでなく、無痛分娩、帝王切開、婦人科診療、婦人科手術、婦人科腫瘍、不妊治療、子宮頸がん検診などの方も引き続きお待ちしております。来院されるひとりひとりの患者さんがホッとでき、女性の一生に寄り添うクリニックでありたいと思っています。

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	一般社団法人伊勢崎佐波医師会附属 成人病検診センター診療所
所在地	群馬県伊勢崎市下植木町502番地
沿革	昭和49年：伊勢崎総合保健センター付属病院として診療開始 昭和50年：人間ドック・検診車による検診業務開始 平成3年：一般病床 11床 にて成人病検診センター診療所開設 現在に至る

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	11 床	床	床	11 床	床	床
	平均在院日数	日	日	日	日	日
	病床稼働率	%	%	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	11 床	床	床	11 床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	今後も、同様に健康診断業務を中心にした病床維持を計画しております。
---------------------------	-----------------------------------

## 3. 医療機能について

診療科目	2 科 ( 内科 婦人科 )
------	----------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の 具体的な機能	健康診断 (日帰りドック、一泊ドック、事業所健診、住民健診)				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の 具体的な機能	健康診断 (日帰りドック、一泊ドック、事業所健診、住民健診)				

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	伊勢崎佐波医師会病院		

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 受診者受入体制	人間ドック等の施設検診、検診車による出張事業所健診及び地域住民向け集団検診を提供しております。
特徴的な 検査内容	胃カメラ・脳ドック・胸部マルチスライスCT・S状結腸内視鏡検査等、豊富なオプション検査項目が実施可能です。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	平成3年、成人病検診センターとして診療開始以来、年々受診者は増加傾向にあります。検診車を介した活動エリアも群馬県全域と広範囲に及び、事業所従業員・地域住民と幅広い層に対する病気の早期発見と予防医学に役立つ検診機関として活動しております。また、レントゲン撮影後の病巣発見の為に読影体制も、医師会会員の先生方の協力により確立されており、ソフト・ハード面双方より病気の早期発見と予防医学に役立っております。
当院の未来像	今後も健康診断業務は、病気の早期発見及び生活習慣の見直しのきっかけになり、ひいては健康寿命を延ばし生活の質を高める保健医療サービスの提供と直結しております。将来的にも健康診断業務を中心とした業務を予定しております。また、ドック検診の需要増加に対応した設備増強も目指したい。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	病気は早期に発見する程治りやすいと言われております。定期的な健康診断は、体調の変化を早い段階で把握でき、病院・診療所との連携により適切かつ軽い治療へと受診者を導くことが可能となります。また、生活習慣の見直しのきっかけにもなり疾病予防にも役立ちます。

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	高柳整形外科歯科クリニック
所在地	群馬県伊勢崎市香林町二丁目863番地2
沿革	平成12年 一般外来開院 平成16年 一般病棟 19床にて稼働

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19 床	床	19 床	床	床	床
	平均在院日数(※1)	日	11.4 日	日	日	日
	病床稼働率(※2)	%	22.2 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	19 床	床	19 床	床	床	床	床

2025年に 向けた 病床活用の 見通し	当院からの早期退院患者の在宅、介護施設への受け渡し機能と専門医療を担って、診療所の役割を補完する機能の充実を図る。
-------------------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	6 科 ( 整形外科、外科、内科、皮膚科、リウマチ科、リハビリテーション科 )
------	---

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	伊勢崎佐波医師会病院	恵愛堂病院	桐生厚生病院
主な紹介先医療機関	伊勢崎佐波医師会病院	石井病院	東邦病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 入院医療	診療科目は、整形外科，外科，内科，皮膚科，リウマチ科，リハビリテーション科があり、訪問診療，訪問看護にも力を入れています。
特徴的な 地域密着医療	在宅生活に復帰できるようリハビリ等積極的に支援しております。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	”心”を大事にする医療を継続したいと心掛けています。夜間入院患者さんの状況に応じて医師及び看護師が速やかに対応できる体制をとっています。随時、他院との医療連携が整っており医師会病院及び近隣の専門医療機関へ受診することができます。地域医療向上に日々努めています。
当院の未来像	現状を維持しつつ「想」という字のように、相手を思いやる心を大切にした医療を心掛け、患者さん同士いろいろな交流ができ、家庭的な明るい雰囲気と心と身体の癒される場となるようなクリニックを目指し、スタッフ一同邁進していきます。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	地域の患者様が必要とする医療を真心をもって提供していきます。



# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 厚幸会 アベ眼科医院
所在地	伊勢崎市上植木本町2518-2
沿革	平成11年開院 平成13年一般病床（急性期）4床開設 現在に至る

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	4 床	4 床	4 床	床	床	床
	平均在院日数	日	1.0 日	日	日	日
	病床稼働率	%	14.9 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間） / (新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）) / 2)

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	4 床	4 床	床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	現在のように、白内障手術を受ける患者さんに高度な医療を提供していくとともに、周術期の安全、確実な医療を提供するために病床を維持していく。
-------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	1 科 ( 眼科 )
------	------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	白内障手術の実施					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	白内障手術の実施					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬大学附属病院	伊勢崎市民病院	
主な紹介先医療機関	群馬大学附属病院	前橋中央眼科	

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な  地域のニーズに沿った医療の提供	白内障、緑内障、網膜症、ドライアイ、近視、遠視、小児眼科、コンタクトレンズ処方など、幅広い疾患に対応可能です。地域の皆様、それぞれのニーズに合わせた医療を提供しています。
特徴的な	

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5000例を超える手術の経験から、より安全に日帰りで白内障手術を行う体制を整えている。</li> <li>・延べ1万症例を超える治療経験から、高いレベルのレーザー治療が可能。</li> <li>・正確な視力検査を行い、適正な眼鏡及びコンタクトレンズの処方ができる。</li> </ul>
当院の未来像	現状を維持しながら、地域の病院、診療所との連携を深め、患者様にとって利便性の高い医院になるよう努力する。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	安全、正確な手術はもちろんの事、身近な疾患に対して的確な診断。治療、変化を見逃さない経過観察により、地域の皆様の眼の健康増進に貢献いたします。